自然豊かな街Rambouillet１ 大統領のお城と廃墟の修道院

今日ご紹介するのは、パリ近郊の自然豊かな街**ランブイエ(Rambouillet)**
。実はこの街は国際的にとっても重要な場所でもあるんです。また週末だけこの街で過ごす人もたくさんいるため、沢山の別荘もあります。そんなランブイエの街を一緒に散策してみましょう！

ランブイエってどこにあるの？

ランブイエはパリの南西50キロに位置し、Île de France地域圏のイブリーヌ県にあります。

(Google mapより）

パリのモンパルナス駅(Gare de Montparnasse）から急行で30分。Île de France地域圏内のため、定期券Pass Navigoを持っていれば利用できます。チケットを購入する場合は８€（1,000円前後）です。

国際的にも重要なランブイエ城

まず訪れたいのが**ランブイエ城（Château de Rambouillet）**。1375年に建築されたこの城は、ルイ16世やナポレオン１世も利用していました。現在ではフランス大統領の別邸となっていて、国際的な交渉の場としてたびたび用いられています。

先日、三重県伊勢市で第42回首脳会議、通称「**伊勢志摩サミット（Sommet du G7 2016）**」が開催されて大変な話題となりましたね。この「サミット」の第１回が開催されたのも、ここランブイエなんですよ。

このランブイエ城は住宅地のすぐそばにあるので、ひょっとするとばったり大統領と出会って「

こんにちはオランドさん。今日もいい天気ですね」なんてこと…あるといいですねえ。

その美しい姿をご紹介！

そんなランブイエ城をさっそく見に行きましょう！

えっと…。

今回は残念ながら工事のため一面が覆い尽くされていて、その美しい姿を見ることはできませんでした。

広大なランブイエの森

ランブイエは市街地を抜けると、急に田園地帯。森が広がります。このランブイエの森はとにかく広大で、ここがパリから30分のところにある街だと信じられないほど、静かです。

野生の鹿が道路を普通に歩いていたり、目をわきにやると牛がいたり、キジがちょこちょこと通りを横断していたり。

静寂に包まれた修道院跡

そんなランブイエの森を車で走ること10分。Abbaye des Vaux de Cernayに到着しました。ここは、ランブイエ市の隣の隣、セルネー・ラ・ヴィル（Cernay-la-ville）市。

朽ち果てた建物

l'abbaye （アベイ）というのは、大修道院という意味です。広大な敷地に修道院の建物が点在しています。一気に写真で見ていきましょう。

廃墟の修道院群

朽ち果てた建物がそのまま残されています。隣の建物は、現在はホテルとして利用されています。

屋根がごっそりと抜け落ちています。

壁を植物が覆い、ステンドグラスが抜け落ちています。

…静寂が流れます。

次回は修道院跡の続きです

今回はここまで。どうでしたか？ あまり旅行ガイドには載っていない場所ですが、週末には周辺の街から多くの人が訪れる有名な場所です。

次回はこの修道院跡の続編。それからとっておきの場所をご紹介します！

⇒自然豊かな街Rambouille２ 静寂に包まれた修道院跡

⇒前回の記事 Edith Piafやショパン、アポリネールに思いをはせる2

執筆 Daisuke

オンラインフランス語学校

ENSEMBLE EN FRANÇAIS

アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師による
マンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。
いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた
質の高いレッスンが好評です。